

令和3年度
瀬戸内市の教育

瀬戸内市教育委員会

目 次

教育行財政

- | | |
|--------------------|-------|
| 1 瀬戸内市の概要 | - 1 - |
| 2 教育委員会 | - 2 - |
| 3 事務局・教育機関の機構及び職員数 | - 3 - |
| 4 教育財政 | - 4 - |
| 5 教育行政重点目標施策 | - 6 - |

資料

- | | |
|---------------|--------|
| 1 学校教育施設 | - 20 - |
| 2 瀬戸内市教育研修所組織 | - 24 - |
| 3 研究指定等学校一覧 | - 24 - |
| 4 教育関係委員及び団体 | - 26 - |
| 5 社会教育施設 | - 27 - |
| 6 スポーツ施設 | - 27 - |

教育行財政

1 瀬戸内市の概要

瀬戸内市は平成16年11月1日に岡山県牛窓町、^{うしまど} 邑久町、^{おく} 長船町、^{おさふね} の3町が合併して誕生し、合併による効果を最大限に活かしながら、新しいまちづくりを進めてきました。

岡山県の東南部に位置し、人口は約37,000人、総面積は125.46 km²で、西は岡山市、北と東は備前市に接しています。市の西端を南北に一級河川吉井川が流れ、西部には平野が広がり、東南部には瀬戸内海に面した丘陵地と、長島、前島などの島々があり、豊かな自然と歴史に彩られたまちです。

気候は、瀬戸内海式気候に属し、北は中国山地、南は瀬戸内海をはさんで四国山地にさえぎられ、雨が少なく、温暖なまちです。

古くから開けており、牛窓神社や本蓮寺などの神社仏閣や仏像などの重要文化財、^{ほんれんじ} 須恵器の古窯跡群、^{こようせき} 朝鮮通信使関連遺跡や城跡などの史跡、竹久夢二の生家、備前長船刀剣のふるさとや、有形無形の文化財、郷土芸能、伝統行事、祭りなど、貴重な歴史や文化資源を有しています。

なかには、近年人権や差別について学ぶ場として、多くの人から注目を浴びている2つの国立ハンセン病療養所（長島愛生園・邑久光明園）があります。1つの市に2つの療養所があるのは本市だけです。

現在、瀬戸内市では、「人と自然が織りなす しあわせ実感都市 瀬戸内」を将来像として掲げています。豊かな自然に恵まれ、安全に安心して暮らせるまち。市民一人ひとりの人権が尊重され、夢と希望を持って暮らすことのできるまち。「このまちに生まれてよかった、住んでよかった」と、しあわせが実感できるまちの実現をめざしています。市民一人ひとりがしあわせを実感することで、地域のしあわせをも実現していきます。



2 教育委員会

(1) 瀬戸内市教育委員会

令和3年4月1日現在

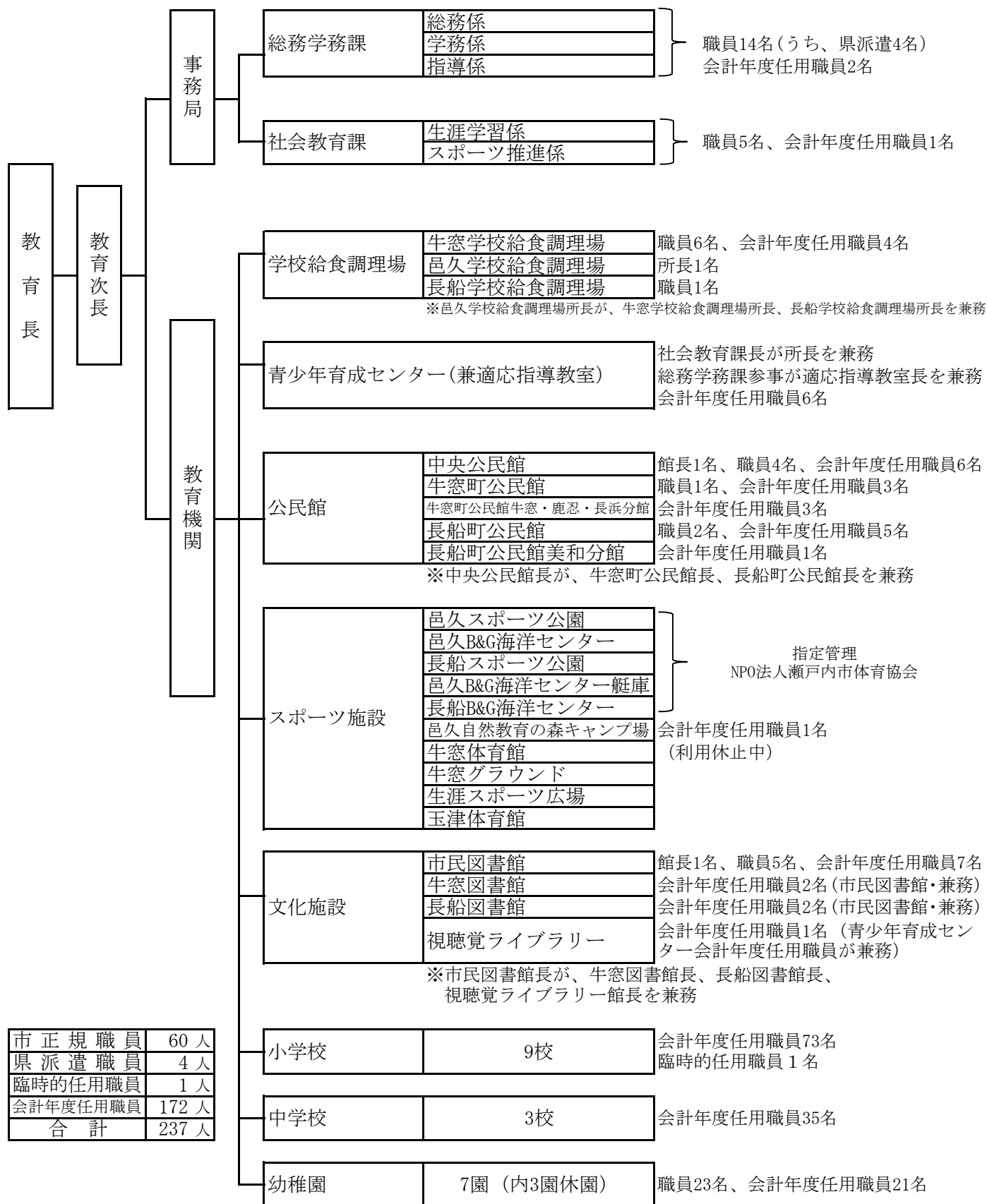
職名	氏名	就任年月日	現任期
教 育 長	東南 信行	H30. 4. 1	R3. 4. 1～ R6. 3. 31
委 員 (教育長職務代理)	山本 正	H30. 12. 25	H30. 12. 25～ R4. 12. 24
委 員	淵本 晴生	H25. 4. 1	R1. 12. 25～ R5. 12. 24
委 員	井手 康人	H28. 12. 25	R2. 12. 25～ R6. 12. 24
委 員	藤本 里絵	H29. 12. 25	H29. 12. 25～ R3. 12. 24

(2) 歴代の教育委員

氏名	就任年月日	退任年月日
木村 克明	H16. 11. 1	H20. 12. 24
河原 昌文	H16. 11. 1	H16. 12. 24
四十塚 和晃	H16. 11. 1	H19. 12. 24
野崎 俊雄	H16. 11. 1	H16. 12. 24
石原 昌郎	H16. 11. 1	H16. 12. 24
石原 史雄	H16. 12. 25	H20. 12. 24
野口 京子	H16. 12. 25	H19. 12. 24
小林 一征	H16. 12. 25	H20. 12. 4
河原 陽子	H19. 12. 25	H20. 12. 24
入江 明美	H19. 12. 25	H23. 12. 24
日下 弘海	H20. 12. 25	H21. 7. 31
布野 浩子	H20. 12. 25	H25. 2. 24
馬場 俊晴	H20. 12. 25	H25. 12. 24
山崎 宗則	H22. 4. 1	H24. 12. 24
林 修	H23. 12. 25	H25. 3. 31
藤原 一成	H25. 1. 21	H27. 3. 31
水野 勝紀	H20. 12. 25	H28. 12. 24
川島 ゆか	H25. 2. 25	H29. 12. 24
柴崎 伸次	H27. 4. 1	H30. 3. 30
片山 工	H25. 12. 25	H30. 12. 24

3 事務局・教育機関の機構及び職員数

令和3年4月1日現在



市正規職員	60人
県派遣職員	4人
臨時的任用職員	1人
会計年度任用職員	172人
合計	237人

※ 会計年度任用職員のうち牛窓町公民館鹿忍分館職員1名と牛窓図書館1名が兼務
吉井川河川公園スポーツ広場 ※ 廃止: 令和3年1月～

4 教育財政（文化観光部予算を含む）

（1）瀬戸内市一般会計の概要（令和3年度 当初予算）

歳出予算総額 20,898,558 千円

（款別）

議会費	総務費	民生費	衛生費	労働費	農林水産業費	商工費	土木費	消防費	教育費	公債費	予備費
0.9%	11.6%	30.5%	9.0%	0.1%	2.4%	1.4%	14.4%	3.3%	17.2%	8.8%	0.4%

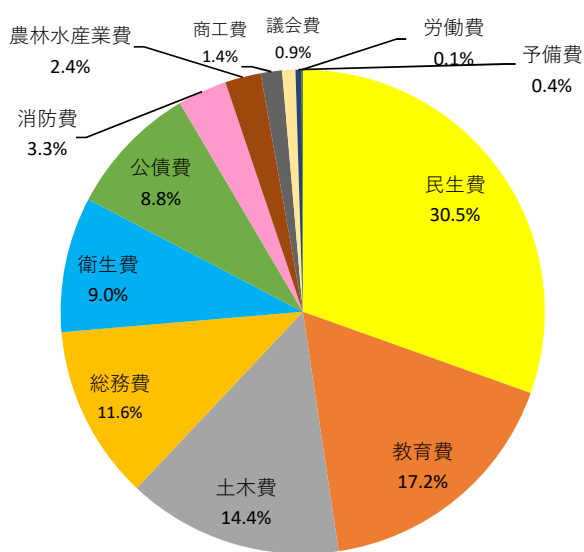
（2）教育費の各項別予算額

歳出予算総額 3,590,093 千円

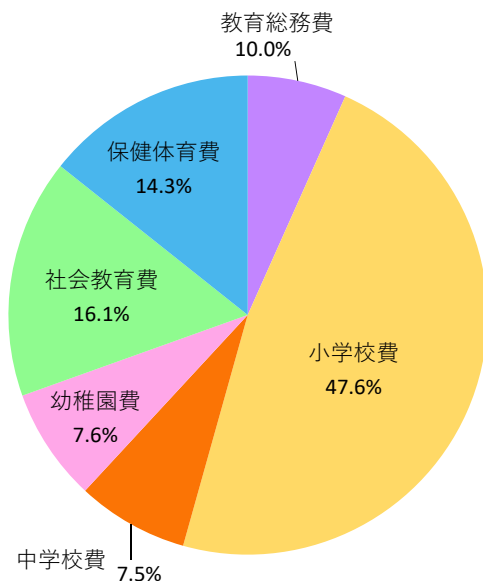
教育総務費	小学校費	中学校費	幼稚園費	社会教育費	保健体育費
千円 239,499	千円 1,710,183	千円 270,231	千円 277,493	千円 579,458	千円 513,229
6.7%	47.6%	7.5%	7.6%	16.1%	14.3%

（3）教育費の性質別予算額

性質別	予算額(千円)	構成比(%)
人件費	841,680	23.5%
物件費	703,451	19.6%
維持補修費	40,585	1.1%
扶助費	42,466	1.2%
補助費等	66,576	1.9%
普通建設事業費	1,867,646	52.0%
積立金	15,509	0.4%
貸付金	12,180	0.3%
合計	3,590,093	100%



瀬戸内市一般会計の概要（款別）



教育費の各項別予算額

(4) 教育費予算の内訳の推移

(令和2年度 → 令和3年度 当初予算ベース)

(単位：千円)

教育費内訳	令和2年度	令和3年度	差	対前年比	備考
教育総務費	580,165	239,499	▲ 340,666	41.3%	
教育委員会費	1,840	1,825	▲ 15	99.2%	
事務局費	578,325	237,674	▲ 340,651	41.1%	
小学校費	980,210	1,710,183	729,973	174.5%	
学校管理費	810,609	1,521,823	711,214	187.7%	*1
教育振興費	169,601	188,360	18,759	111.1%	*2
中学校費	258,690	270,231	11,541	104.5%	
学校管理費	142,151	157,484	15,333	110.8%	*3
教育振興費	116,539	112,747	▲ 3,792	96.7%	
幼稚園費	346,132	277,493	▲ 68,639	80.2%	
幼稚園費	346,132	277,493	▲ 68,639	80.2%	
社会教育費	706,998	579,458	▲ 127,540	82.0%	
社会教育総務費	54,673	33,611	▲ 21,062	61.5%	
文化振興費	0	51,012	51,012	皆増	文化観光部
文化財保護費	7,258	18,450	11,192	254.2%	*4 文化観光部
公民館費	366,152	243,803	▲ 122,349	66.6%	文化観光部
図書館費	103,203	107,556	4,353	104.2%	
博物館費	128,572	70,676	▲ 57,896	55.0%	文化観光部
美術館費	47,140	54,350	7,210	115.3%	*5 文化観光部
保健体育費	313,850	513,229	199,379	163.5%	
保健体育総務費	16,195	16,539	344	102.1%	
保健体育施設費	65,335	257,844	192,509	394.6%	*6
学校給食共同調理場費	232,320	238,846	6,526	102.8%	
合 計	3,186,045	3,590,093	404,048	112.7%	

*1：国府小学校校舎大規模改造工事等による増による増

*2：支援員・非常勤講師による増

*3：邑久中学クラブハウス建築工事による増

*4：日本刀デジタルコンテンツ制作による増

*5：美術館の特別企画展による増

*6：B&G邑久スポーツ公園改修工事による増

5 教育行政重点目標施策

基本方針

令和3年4月から総合教育会議で策定された新しい「瀬戸内市教育大綱」に基づき、教育、学術及び文化の振興に努めていきます。

瀬戸内市教育委員会においては、この「瀬戸内市教育大綱」の五つの重点施策を柱とし、本年度に取り組む施策を体系化するとともに、具体的事業内容を明示し、瀬戸内市の教育の一層の充実に向け、諸施策を実施します。

また、施策の推進に当たっては、未来を担う子どもたちが夢と志を持ち、挑戦力や急速に変化する社会を牽引する力を身に付けることができるよう、家庭・地域・学校・行政が協働して持続可能で自立した教育行政を推進していきます。

特に、令和2年から国内において感染拡大が続く新型コロナウイルス感染症については、子どもたちの命を守るための措置を迅速かつ適切に講じながら、感染予防の活動を通じて、自他の命を守るための知識の習得や態度の育成に資する教育の推進に学校・家庭・地域と連携して取り組みます。

重点1「確かな学力、豊かな心、健やかな体の子どもの育成」

学校教育においては、「子どもが楽しく学び成長を実感できるまち」を目標に、各施策の充実を図っていきます。特に、学びの基本は授業であるとの認識のもと、学ぶことは楽しい、もっと学びたいと思う子どもたちが増えるよう、授業及びそれを支える教育環境の改善を推進します。さらに、整備されたICTを効果的に活用し、子どもたちの学習意欲を高めるとともに、分かりやすい授業を目指します。

重点2「子育て・保育・教育を通して子どもの成長を社会総がかりで支援」

未来を担う子どもたちがのびのびと幸せに育つよう、子どもの成長を社会総がかりで支援するまちをつくっていきます。

保育園、幼稚園、小学校の連携により作成した「育ちと学びの共通カリキュラム」を各学校・園で実施し、就学前教育や特別支援教育に係る連絡会を設け、保育園、幼稚園、小学校や関係機関との連携を密にします。

また、家庭教育における学習機会と情報の提供を図り、同時に子どもの健全な育成を地域全体で図る体制づくりを支援し、子どもの健やかな成長に向けた支援体制について研究を進めます。

重点3「生涯にわたり 学びあう市民への効果的支援」

あらゆる年代の市民が生涯にわたり学びたいときに学び、生きがいをもつことができるよう、生涯学習の機会の充実を図っていきます。

そのために、公民館や図書館を中心に、市民の交流を促す学習情報の発信を行うとともに、市民の学習ニーズに基づく資料や学習の機会の提供を積極的に取り組みます。

また、安全に安心して学習することができ、多様な学習要求にこたえることが出来るよう公民館や図書館の整備や改修を行っていきます。

重点4「健康で活力に満ちた地域社会の形成」

スポーツを通じ市民が健康づくりや体力づくりを日常的、継続的に行うことにより、健やかに暮らせるまちをつくっていきます。

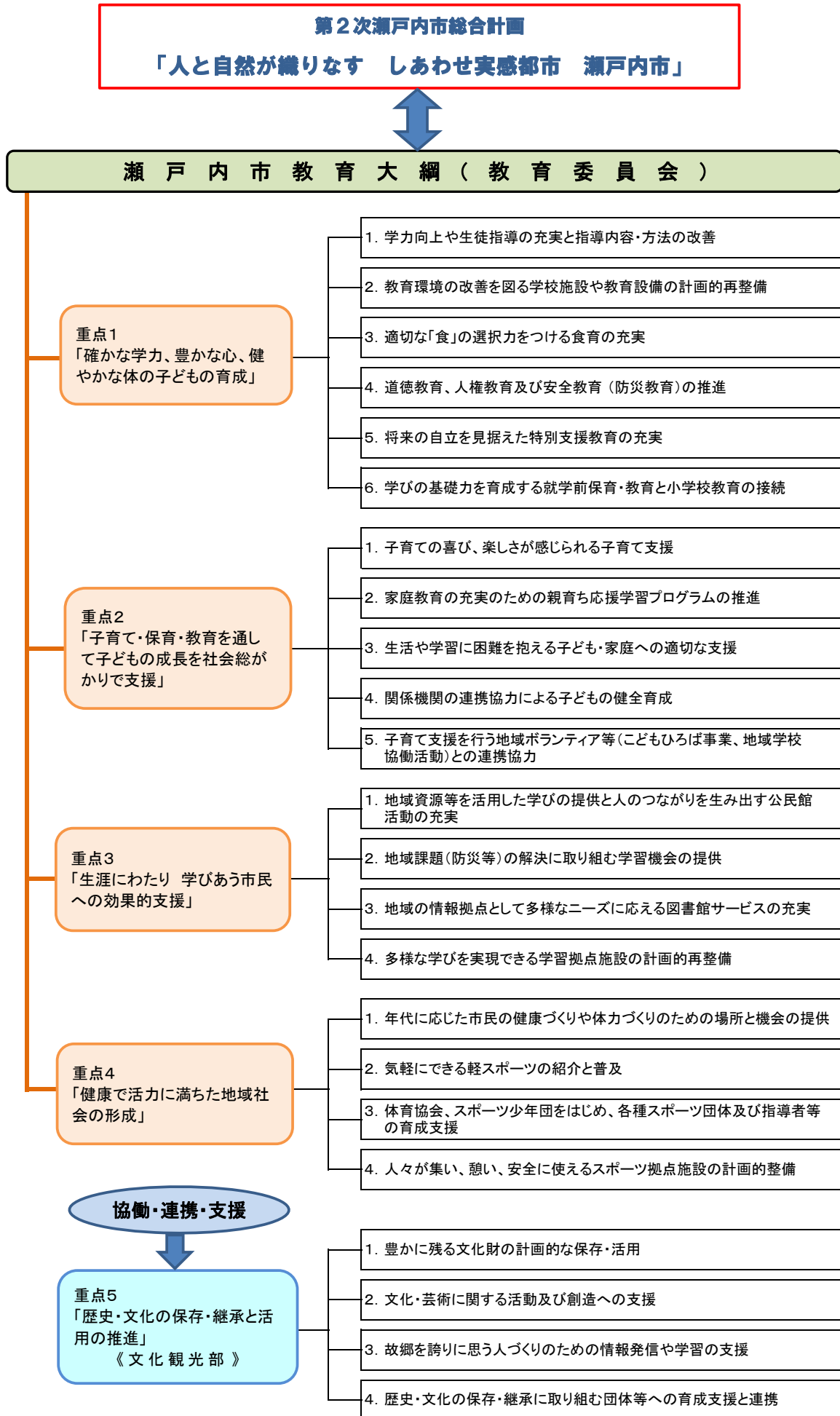
そのために、市民が生涯にわたって、それぞれの体力や年齢、技術、目的に応じて、スポーツに親しむことができる場の提供に努めます。

多くの市民がスポーツの楽しさや爽快感を経験できるようスポーツ活動を支援するとともに、年齢や性別、身体能力に応じて適切に指導できる指導者とボランティアの育成を図ります。

全国大会に出場するなどトップレベルで活躍する選手たちを支援し、広く市民に広報することにより、市民のスポーツに対する関心が高まるようにしていきます。

重点5「歴史・文化の保存・継承と活用の推進」

瀬戸内市に住むすべての人に、このまちの美しい自然や価値のある歴史的・文化的・芸術的な資源を知ってほしいと思っています。足を運び、見て、聞いて、触れて、多くのこれら魅力にあふれる瀬戸内市の風土を感じてほしい。そして、それらが語る物語に興味・関心を持ってほしいと願っています。文化観光部と協働、連携し、より分かりやすく楽しい情報を提供したり、子どもたちに学習の支援をしていきます。



重点施策

重点1 「確かな学力、豊かな心、健やかな体の子どもの育成」

これからの時代を生きる上で必要な資質・能力を確実に育む教育を実現する

確かな学力、豊かな心、健やかな体の子どもの育成を目指し、子ども一人ひとりに必要な資質や能力を育む教育を実現します。そのために、主要事業や取組によって、学習環境の改善、施設設備の再整備、食育の充実、道徳教育や人権教育や安全教育の推進、特別支援教育の充実を図ります。

1 学力向上や生徒指導の充実と指導内容・方法の改善

事業名等	事業の内容
非常勤講師等配置事業	事業費 72,156 千円 ・小中学校の教科指導の充実及び小学校の複式学級の学年別指導等にあたる。 ・小学校における外国語の教科化に対応して、市内小学校の全ての外国語授業と外国語活動を専科教員が指導する。
外国語指導助手（ALT）幼・小・中派遣事業	事業費 36,960 千円 市内学校園にALTを7名配置し、幼稚園児の国際性を豊かにするとともに、小中学校の外国語授業と外国語活動の充実を図る。
学校力向上事業	事業費 2,850 千円 「特別の教科 道徳の充実」、「幼小連携の推進」、「教育の情報化の推進」「長期欠席・不登校問題の改善」のため、研究指定校園を決定し研究助成を行う。また、各学校園の指導力向上に向け、研修会や講演会への参加及び開催のための助成を行う。
放課後学習サポート事業	事業費 1,690 千円 [小学校のみ県 10/10] 小中学校に支援員を配置し、放課後に補充的な学習を小学校は年間640時間以上、中学校は年間320時間以上実施することで、学習内容や学習習慣の定着を図り、児童生徒の学力向上に資する。
小学校35人学級対応臨時雇用事業	県市事業 事業費 11,162 千円 きめ細やかな指導・支援を行うため、小学校全ての学級を35人以下で編制するための教員を配置する。
適応指導教室運営事業	事業費 2,002 千円 長期欠席・不登校児童生徒に対して、学校と家庭をつなぎ、自立を育て、学校生活への復帰を支援する。

不登校対策実践研究事業	<p>事業費 4,882 千円 [県 10/10 以内]</p> <p>長期欠席・不登校傾向にある児童の個別の支援カードを作成し、個々の実態に応じた支援方法を研究したり、小学校4校に登校支援員を配置したりするなど、登校しづらい児童への登校支援や自立支援を行い、長期欠席・不登校の抑制と「岡山型長期欠席・不登校対策スタンダード」に示す状態の改善を図る。その中で、不登校児童数の減少をめざす。</p>
学力向上プロジェクトチーム	<ul style="list-style-type: none"> 市内中学校ブロックごとにプロジェクトチームを編成し、学力・学習状況調査の結果を基に学力向上や家庭学習に関する情報交換、研修、研究を推進する。その結果、児童生徒の学びを自分で計画する力と振り返る力を育て、学力向上を図る。 授業改革推進員及び指導教諭を中心として、市内の小中学校の授業改善を推進する。
教員研修の充実	<p>教員の授業力や子どもによりよくかかわる力を育成するため、授業や保育の研究、研修を行い、指導主事により指導・助言を行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> 学力向上プロジェクト研修会 不登校問題対応研修会 授業改善研修会 特別支援教育研修会 瀬戸内まなび塾 <p style="text-align: right;">等</p>

2 教育環境の改善を図る学校施設や教育設備の計画的再整備

事業名等	事業の内容
教育情報機器整備事業	<p>事業費 23,625 千円</p> <p>GIGA スクール構想での児童生徒 1 人 1 台の端末について、令和 3 年度は、教育委員会の事務局に GIGA スクールサポーターを 1 名、また、学校には ICT 支援員を 2 名配置する。</p>
学校教育施設等整備事業	<p>事業費 1,496,926 千円</p> <p>学校施設については、老朽化が進み、大規模改造や老朽改修が必要となっている学校が多くなっているため、緊急性に応じて計画的に実施する。併せて、学校トイレの環境整備（洋式化、乾式化）を進めることにより、機能性や衛生面に配慮した施設整備を行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 小学校施設整備事業費 1,368,384 千円 行幸小学校 校舎大規模改造工事（Ⅱ期） 国府小学校 校舎大規模改修工事（Ⅰ期） 牛窓西小学校、邑久小学校、今城小学校 トイレ環境整備工事 ● 中学校施設整備事業費 89,450 千円 牛窓中学校 トイレ環境整備工事 邑久中学校 クラブハウス等整備工事 ● 幼稚園施設整備事業費 39,092 千円 邑久幼稚園 トイレ環境整備工事 旧裳掛幼稚園 園舎解体撤去工事

3 適切な「食」の選択力をつける食育の充実

事業名等	事業の内容
安全安心な給食	<p>学校給食に係る衛生管理を徹底するとともに、地元の旬の食材や郷土料理を取り入れた「瀬戸内市共通献立」を毎月実施する。また、アレルギー対応については、食物アレルギー対応マニュアルを基に保護者や医師等から正確な情報を把握し、必要に応じて保護者面接、詳細な献立表の配布を行うなど学校や給食調理場等の関係者が連携し児童生徒の安全確保に努め、誤食のないように注意する。</p>
学校給食を教材とした食育の充実	<p>児童生徒の健康の保持増進を図ることはもちろん、「学校給食法」第2条「学校給食の目標」を達成できるよう、栄養教諭が担任や養護教諭と連携し、食に関する指導を効果的、継続的に進める。</p>
学校給食調理等業務委託事業	<p>事業費 103,040千円</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 邑久学校給食調理場 54,648千円 ・ 長船学校給食調理場 48,392千円 <p>邑久学校給食調理場、長船学校給食調理場の調理・配送・洗浄業務の委託を、令和3年度も継続する。</p> <p>市は委託業者のノウハウを活かした衛生管理・社員教育を活用・推進することにより安全な給食を提供する。</p> <p>また、厨房内の労務管理が軽減されることによって、栄養教諭が栄養管理業務や学校での食育推進に専念できる環境整備を推進する。</p>

4 道徳教育、人権教育及び安全教育（防災教育）の推進

事業名等	事業の内容
道徳の時間の確保と指導の充実	<p>道徳教育は、学校園の全教育活動を通じて推進する。</p> <p>幼稚園では、豊かな心を育成する活動や環境を意図的に設定する。小中学校では、道徳の時間を年間35時間確保し、子どもたちが道徳的価値について考える道徳の実現に努める。</p>
人権教育の充実	<p>人権教育は、学校園の全教育活動を通じて推進する。</p> <p>市内小中学校においては、邑久光明園や長島愛生園への訪問、入所者との交流、ハンセン病問題に係る人権教育を教育計画に取り入れ、人権尊重の理念に基づいた人権教育を計画的継続的に実施する。</p> <p>また、園児、児童、生徒が発達段階に応じて新型コロナウイルス感染症を正しく理解し、これによる差別、偏見、いじめ、誹謗中傷をしない、させない人権感覚を磨くよう努める。</p>
安全教育（防災教育）の充実	<p>交通安全や防災、防犯について子どもの発達段階や各学校園の状況に応じて指導し、子どもたちが自分や周りの人の安全を守るための行動をとることができるようにする。年間を通じて、火災、地震や津波等に関する避難訓練を行い、全ての学校園において事前の実施予告をしない避難訓練を年間1回以上実施する。また、新型コロナウイルス感染症の予防についての意識を高め、実践を通して感染防止に努める。</p>

5 将来の自立を見据えた特別支援教育の充実

事業名等	事業の内容
就学指導説明会の実施	市内全てのこども園、保育園、幼稚園、小学校、中学校の担当者が参加し、適切な就学指導についての留意点や教育支援委員会に向けての手続きの仕方について正しく理解し早期から継続的に指導・支援ができるように年間2回の説明会を実施する。
教育支援委員会の開催	園児、児童生徒の障がいの程度を判定し、適切な就学指導を行うため教育支援委員会を開催する。対象園児の実態を的確に把握するため、教育支援委員と市特別支援教育推進リーダーによるこども園、保育園、幼稚園の訪問を行う。(年3回)
教育支援員配置事業	事業費 88,796 千円 特別な支援を必要とする子ども一人ひとりの教育的ニーズに応じて、多様できめ細やかな支援を充実させるため支援員を配置する。(幼稚園 14 名、小学校 26 名、中学校 10 名)
特別支援教育の充実のための支援	邑久小学校の指導教諭が市特別支援教育推進リーダーとして、市内小中学校の特別支援教育に係る授業改善、課題解決のための指導・助言を年間50回程度行い、教職員の資質・能力の向上を図る。

6 学びの基礎力を育成する就学前保育・教育と小学校教育の接続

事業名等	事業の内容
学校・園の連携	随時、対象園児や児童を参観し、個々の障がいの状況を把握する。そのために、就学前後の学校・園の連絡を密にするとともに、関係機関とも必要な情報交換や情報提供を積極的に行う。
こども園、保育園、幼稚園と小学校との連携	<ul style="list-style-type: none"> こども園、保育園、幼稚園と小学校との交流会の打ち合わせや就学に向けての引継ぎのために、各地域の学校・園の実状に合わせて連絡会を開催する。また、就学後の学校生活の実態把握や学習意欲の育成のため、こども園、保育園、幼稚園、小学校の教員が児童の育ちや変容、課題などの話し合いの場を夏季休業中に設け、相互理解と連携に努める。 支援が必要な園児の就学において、就学先の小学校との情報共有や確実な引き継ぎが行えるよう「共通支援シート」を活用したモニタリングの会を2学期までに実施する。

重点2 「子育て・保育・教育を通して子どもの成長を社会総がかりで支援」

すべての子どもの成長を、学校、家庭、地域及び関係機関が緊密に連携協力し、社会総がかりで支援する

幼少期の教育の重要性に鑑み、就学前教育の充実と、こども園、保育園、幼稚園と小学校が一体となった取組を進めます。その一環として、小学校入学までに身につけたい「基本的生活習慣」と「学びのスキル」における共通カリキュラムを推進し、教師の指導力向上を図ります。

市内全ての小中学校に設置した「地域教育協議会」の充実を図り、「学校を核とした地域づくり」と「地域とともにある学校づくり」を両輪とした活動を行うことによって、社会総がかりで子どもの成長を支援します。

1 子育ての喜び、楽しさが感じられる子育て支援

事業名等	事業の内容
家庭教育に関する情報や学習機会・集いの場の提供	<p>未就園児の子育て講座「うさぎの学校」、おはなしフェスタ、ブックスタート事業を実施し、学習機会や集いの場の提供、関係機関や地域との連携、子育てに関する情報提供を行う。</p> <p>また、保護者が集まる機会に、保護者同士が交流しながら子育てに必要な知識・スキルを学ぶ、親育ち応援学習プログラム（親プロ）を実施し、学習意欲が高まるようサポートするファシリテーター養成講座やスキルアップ講座を年1回行い、みんなが安心して学習に取り組める場を提供する。</p>
共通カリキュラムの充実	<p>こども園、保育園、幼稚園の年長児後半から就学直後の接続期における子どもの育ちがより円滑に繋がるよう、現在、活用されている共通カリキュラムについて、こども園、保育園、幼稚園と小学校が相互理解し連携を取り合いながら、接続期の更なる充実の観点で改善を図る。</p>
こども園、保育園と幼稚園の合同研修	<p>こども園、保育園と幼稚園の充実した交流保育が、就学後の園児の育ちに繋がるよう、近隣のこども園、保育園と幼稚園の職員が交流保育の計画や課題などについて一緒に話し合う場をもつ。</p>
こども園、保育園、幼稚園と小学校との連携（再掲）	<ul style="list-style-type: none"> こども園、保育園、幼稚園と小学校との交流会の打ち合わせや就学に向けての引継ぎのために、各地域の学校・園の実情に合わせて連絡会を開催する。また、就学後の学校生活の実態把握や学習意欲の育成のため、こども園、保育園、幼稚園、小学校の教員が児童の育ちや変容、課題などの話し合いの場を夏季休業中に設け、相互理解と連携に努める。 支援が必要な園児の就学において、就学先の小学校との情報共有や確実な引き継ぎが行えるよう「共通支援シート」を活用したモニタリングの会を2学期までに実施する。

2 家庭教育の充実のための親育ち応援学習プログラムの推進

事業名等	事業の内容
家庭教育学級 開催事業	<p>事業費 150 千円</p> <p>市内の幼稚園単位で組織する家庭教育学級を通して、家庭の教育力を高めるとともに、保護者自身の子育ての悩みや不安を解消するほか、保護者同士の交流・ネットワークを深める。また、身近なエピソードや資料をもとに保護者同士が話し合い、交流しながら学ぶ場を提供する。</p>

3 生活や学習に困難を抱える子ども・家庭への適切な支援

事業名等	事業の内容
教育支援員配置事業（再掲）	<p>事業費 88,796 千円</p> <p>特別な支援を必要とする子ども一人ひとりの教育的ニーズに応じて、多様できめ細やかな支援を充実させるため支援員を配置する。（幼稚園14名、小学校26名、中学校10名）</p>
幼稚園専門相談員（臨床心理士等）巡回指導事業	<p>事業費 312 千円</p> <p>臨床心理士等が年間通して全ての幼稚園を巡回し、教職員に対して支援が必要と思える園児への接し方及び、保護者への対応の方法などを指導する。</p>
適応指導教室運営事業（再掲）	<p>事業費 2,002 千円</p> <p>長期欠席・不登校児童生徒に対して、学校と家庭をつなぎ、自立を育て、学校生活への復帰を支援する。</p>
不登校対策実践研究事業（再掲）	<p>事業費 4,882 千円 [県 10/10 以内]</p> <p>長期欠席・不登校傾向にある児童の個別の支援カードを作成し、個々の実態に応じた支援方法を研究したり、小学校4校に登校支援員を配置したりするなど、登校しづらい児童への登校支援や自立支援を行い、長期欠席・不登校の抑制と「岡山型長期欠席・不登校対策スタンダード」に示す状態の改善を図る。その中で、不登校児童数の減少をめざす。</p>
保健福祉部との連携	<p>発達障がいに係る課題を中心に幼稚園と保健福祉部との連絡会を開催する。（年2回）</p>

4 関係機関の連携協力による子どもの健全育成

事業名等	事業の内容
スクールカウンセラー配置事業	県事業 臨床心理士等の資格を有するスクールカウンセラーを全小中学校に配置し、生徒指導に係る相談体制を整える。
スクールソーシャルワーカー（SSW）を活用した行動連携推進事業	県事業 問題行動等への対応だけでなく、気になる児童生徒について早期に支援体制を築く場合などにもSSWを活用する。関係機関からのアプローチを受け入れていない家庭に対して、SSWが家庭訪問し、家庭のニーズに合った支援を行う。
青少年育成センター運営事業	事業費 14,015 千円 低年齢化及び多様化している青少年の非行や問題行動を防止して、青少年の健全育成を図るため、警察や学校等と連携して補導活動を行うとともに、相談活動や有害環境の浄化活動を行う。

5 子育て支援を行う地域ボランティア等（こどもひろば事業、地域学校協働活動）との連携協力

事業名等	事業の内容
地域学校協働本部事業	事業費 3,120 千円 地域全体で未来を担う子どもの成長を支え、地域を創生する活動を推進するため、地域と学校が連携・協働して地域学校協働本部の育成・強化を図る。 また、地域と学校をつなぐ重要な役割を持つ、地域学校協働活動推進員の資質向上のため、研修等を実施し育成を図る。 (12 本部)
地域との交流促進とボランティア育成	図書館のおはなし会、公民館で子どもを対象とした体験講座の「わくわくチャレンジ」、喜之助フェスティバルの夏のボランティアなどの事業を通して、青少年の活動に関わる地域ボランティアの育成を図る。

重点3 「生涯にわたり 学びあう市民への効果的支援」

あらゆる年代の市民が生涯にわたり学びたいときに学び、生きがいをもつことができるよう、生涯学習の機会の充実を図る

市民の生涯学習の拠点として大きな役割を担っている図書館及び公民館は、同じ敷地内や施設内で運営していることから、お互いの役割や機能を高めあうとともに、連携を図り、市民のニーズや課題を共有しながら運営します。

図書館では、今までの図書館の機能に加えて、インターネット等による学びを支援する環境を整備します。

公民館では、社会の要請に的確に対応し、地域の学習ニーズを把握しながら、あらゆる世代の人が気軽に集える拠点として事業を推進し、ESD（持続可能な開発のための教育）の実現に向けて、公民館以外の施設や団体等と連携を図り、取り組みます。

1 地域資源等を活用した学びの提供と人のつながりを生み出す公民館活動の充実

事業名等	事業の内容
公民館講座開催事業等	事業費 3,958 千円 公民館は、シビックプライドの醸成や持続可能な学習のニーズに応えるため、日本画講座や菊づくり講座、牛窓を楽しむ講座、地域再発見ウォーキングなど、地域の資源を生かした学習の機会を提供し、受講者にアンケートを実施し平均満足度70%以上を達成する。 また、「文化があふれるまちづくり事業」については、市民が主体的に考えた文化芸術活動全般の活性化を図る。中央公民館を拠点に実行委員会が中心となり、イベントの開催や文化芸術活動への支援、せとうちアーティストリスト「みつカル」の運用などを実施する。延べ3,000人以上の参加を目指す。 講座などの開催情報は、公民館だよりやホームページ、SNSなどを活用し、情報発信を行う。

2 地域課題（防災等）の解決に取り組む学習機会の提供

事業名等	事業の内容
公民館講座開催事業等	事業費 3,958 千円 地域の生涯学習の拠点施設である公民館は、身近な課題の解決や持続可能な学習に取り組む。また、災害時の避難所としての役割もあるため、地域の実情に応じた防災や減災について学習する。また、地域の住民とともに災害に対する危機意識を共有し、積極的な学習機会の提供を行う。 年間延べ1,500人以上の参加を目指す。

3 地域の情報拠点として多様なニーズに応える図書館サービスの充実

事業名等	事業の内容
図書館管理運営事業	<p>事業費 107,556 千円</p> <p>多様な情報ニーズへの対応を主眼とした蔵書構築重点事業として、図書購入費を 20,000 千円とする予算配分を継続する。</p> <p>また、市民との協働や、行政・専門機関などとの連携を強化し、読書活動推進・子育て応援・認知症予防・地域学習支援等々、さまざまな課題に応えるための各種事業を実施する。特に、2019 年 6 月に施行された「視覚障害者等の読書環境の整備の推進に関する法律（読書バリアフリー法）」の趣旨をふまえ、個性に合わせた情報提供について、現在実施しているサービスの周知と活用を進める。</p>

4 多様な学びを実現できる学習拠点施設の計画的再整備

事業名等	事業の内容
公民館管理運営事業	<p>事業費 239,845 千円</p> <p>中央公民館の油圧式エレベーターやバリアフリーの改修など、経年劣化が進んでいる箇所を中心に改修を検討する。また、令和 5 年度に予定されている長船町公民館のゆめトピア長船への移転の際には、市民が安心・安全・快適に利用できるように施設の活用のあり方を十分検討する。</p>

重点4 「健康で活力に満ちた地域社会の形成」

市民が、いつでも、どこでもスポーツに親しみ、健康づくりや体力づくりを行うことができる環境を整備する

スポーツを通じ市民が健康づくりや体力づくりを日常的、継続的に行うことにより、健やかに暮らせるまちにするため、市民が生涯にわたって、それぞれの体力や年齢、技術、目的に応じて、スポーツに親しむことができる場所と機会の提供に努めます。

多くの市民がスポーツの楽しさや爽快感を経験できるようスポーツ活動を支援するとともに、年齢や性別、身体能力に応じて適切に指導できる指導者とボランティアの育成を図ります。

1 年代に応じた市民の健康づくりや体力づくりのための場所と機会の提供

事業名等	事業の内容
体育施設管理運営事業	事業費 7,178 千円 邑久スポーツ公園や長船スポーツ公園などの各スポーツ施設の計画的な修繕を行い、利用者が安全に活動できるように施設を整備する。学校体育施設については、利用団体等の利用調整を行い、効率的な利用と市民の健康づくり活動につながるよう支援する。
スポーツ公園等指定管理料	事業費 44,596 千円 邑久スポーツ公園、長船スポーツ公園、邑久B&G海洋センター、長船B&G海洋センター及び邑久B&G海洋センター艇庫については、その円滑な施設運営のため、NPO法人瀬戸内市体育協会による指定管理制度の導入を継続する。

2 気軽にできる軽スポーツの紹介と普及

事業名等	事業の内容
保健体育振興事業	事業費 2,730 千円 地域の実状に合わせたスポーツ活動実施のため、スポーツ推進委員等を中心としたニュースポーツの紹介・普及活動を行う。

3 体育協会、スポーツ少年団をはじめ、各種スポーツ団体及び指導者等の育成支援

事業名等	事業の内容
スポーツ団体の育成支援事業	事業費 9,286 千円 体育協会、スポーツ少年団等の団体を育成支援することにより、競技スポーツの振興、スポーツの機会の提供を充実させる。

4 人々が集い、憩い、安全に使えるスポーツ拠点施設の計画的整備

事業名等	事業の内容
スポーツ公園等 整備工事設計監 理等委託料	事業費 9,200 千円 邑久スポーツ公園改修工事の円滑な実施のための監理委託のほか、邑久 B&G 海洋センターの老朽化箇所の整備を計画する。
スポーツ公園等 整備工事費	事業費 196,870 千円 邑久スポーツ公園冒険の森と野球場の改修工事を行い、市民のスポーツ活 動の拠点施設の整備を行う。

重点5 「歴史・文化の保存・継承と活用の推進」

心豊かで潤いのある暮らしのために歴史・文化等の地域資源を活用する

心豊かで潤いのある暮らしを送るためには、この美しい自然や地域の歴史、文化、芸術に対する関心や知識を高める必要があります。そのために、魅力ある瀬戸内市の風土を感じられるような資料作成や子どもの学習の支援に努めます。

1 故郷を誇りに思う人づくりのための情報発信や学習の支援

事業名等	事業の内容
小学校社会科 副読本の活用	小学校3・4年生が使用する社会科副読本「ぼくのわたしの瀬戸内市」に文化観光課と連携して、瀬戸内市が誇る地域の風土、産業、歴史、文化、芸術について掲載する。地域学習を通して人々の願いや思いを知るとともに、地域をより理解し、故郷を誇りに思うことができるようにする。

※参考 文化観光部予算

所管	事業名	事業費（単位：千円）
文化 観光 部	文化財の保存・活用事業	20,750
	市民の文化活動への支援事業 （うち地域歴史資料作成経費 300 千円）	11,100
	博物館・美術館管理運営事業	129,989

資料

1 学校教育施設

(1) 学校関係一覧

小学校

学校名	所在地	学級数		児童数	職員数		設置年度
		通常	特別支援		県費職員	市費職員	
牛窓東小	瀬戸内市牛窓町牛窓4433-10	6	2	77	13 (3)	(6)	M6
牛窓西小	瀬戸内市牛窓町鹿忍2166	6	1	50	13 (4)	(6)	M5
牛窓北小	瀬戸内市牛窓町長浜3677	6		62	11 (2)	(6)	M5
邑久小	瀬戸内市邑久町山田庄610	24	8	769	48 (7)	(14)	S44
今城小	瀬戸内市邑久町大富25	7	3	165	16 (3)	(8)	M29
裳掛小	瀬戸内市邑久町虫明2	4	1	31	9 (3)	(8)	M38
美和小	瀬戸内市長船町東須恵1666	6		38	9 (4)	(8)	M36
国府小	瀬戸内市長船町福里853	12	4	286	27 (6)	(11)	M41
行幸小	瀬戸内市長船町服部163	12	5	340	26 (8)	(12)	M35
計		83	24	1,818	172 (40)	(79)	

() は臨時的任用・会計年度任用職員(外数)

中学校

学校名	所在地	学級数		生徒数	職員数		設置年度
		通常	特別支援		県費職員	市費職員	
牛窓中	瀬戸内市牛窓町牛窓6446	3	1	106	14 (6)	(9)	S22
邑久中	瀬戸内市邑久町山手2	12	3	401	34 (6)	(14)	S55
長船中	瀬戸内市長船町牛文1010	9	3	330	27 (6)	(13)	S22
計		24	7	837	75 (18)	(36)	

() は臨時的任用・会計年度任用職員(外数)

幼稚園

幼稚園名	所在地	学級数	園児数	職員数	設置年度
牛窓東幼	瀬戸内市牛窓町牛窓4433-8	3	21	3 (2)	M39
牛窓西幼	瀬戸内市牛窓町鹿忍2205	休園中 (H26. 4. 1～)			S2
牛窓北幼	瀬戸内市牛窓町長浜3677	休園中 (H28. 4. 1～)			S26
邑久幼	瀬戸内市邑久町山田庄736	6	103	8 (7)	S46
美和幼	瀬戸内市長船町東須恵1666	休園中 (H31. 4. 1～)			S28
国府幼	瀬戸内市長船町福里839	3	40	4 (5)	T11
行幸幼	瀬戸内市長船町服部160-1	3	49	4 (6)	S4
計		15	213	19 (20)	

※今城幼稚園はR3.3.31から廃園

産休・育休の職員は除く
() は臨時的任用・会計年度任用職員(外数)

学校給食調理場

調理場名	所在地	給食対象人数 (児童、生徒、園児)	県費栄養教諭	備考
牛窓学校給食調理場	瀬戸内市牛窓町牛窓4957-1	309	1	
邑久学校給食調理場	瀬戸内市邑久町尾張1156-1	1,451	2	
長船学校給食調理場	瀬戸内市長船町福里836-5	1,059	1	
計		2,819	4	

(令和3年5月1日現在)



(2) 施設

小学校

学校名	校地面積 (㎡)		建物面積 (㎡)								備考
	全校地面積	左のうち運動場面積	校舎				屋内運動場				
			鉄筋コンクリート造	鉄骨造	木造	計	鉄筋コンクリート造	鉄骨造	木造	計	
牛窓東小	10,047	5,413	2,258	503	0	2,761	687			687	
牛窓西小	10,982	4,806	2,529			2,529	83	779		862	
牛窓北小	11,298	5,348	1,573	229	28	1,830	805			805	
邑久小	19,100	8,653	4,049	813		4,862		880		880	
今城小	11,358	7,123	2,056	32		2,088		606		606	
裳掛小	7,739	5,269	1,308	720		2,028		792		792	
美和小	17,086	10,900	1,973	423		2,396		609		609	
国府小	16,786	8,336	3,794	82	95	3,971		609		609	
行幸小	18,175	12,001	4,422	116	23	4,561		1,046		1,046	
計	122,571	67,849	23,962	2,918	146	27,026	1,575	5,321		6,896	

中学校

学校名	校地面積 (㎡)		建物面積 (㎡)								備考
	全校地面積	左のうち運動場面積	校舎				屋内運動場				
			鉄筋コンクリート造	鉄骨造	木造	計	鉄筋コンクリート造	鉄骨造	木造	計	
牛窓中	23,572	14,281	4,715	185		4,900		1,626		1,626	
邑久中	41,621	25,841	5,487	166		5,653		2,052		2,052	
長船中	43,385	18,400	3,673	600		4,273		1,915		1,915	
計	108,578	58,522	13,875	951		14,826		5,593		5,593	

幼稚園

幼稚園名	校地面積 (㎡)		建物面積 (㎡)				備考
	全校地面積	左のうち運動場面積	鉄筋コンクリート造	鉄骨造	木造	合計	
牛窓東幼	1,358	852	655		0	655	
牛窓西幼	883	503	458		15	473	
牛窓北幼	1,064	647		18	255	273	
邑久幼	4,558	1,796	1,104	5		1,109	
美和幼	2,360	1,500		459		459	
国府幼	3,771	1,456		772		772	
行幸幼	3,616	2,150	1,273			1,273	
計	17,610	8,904	3,490	1,254	270	5,014	

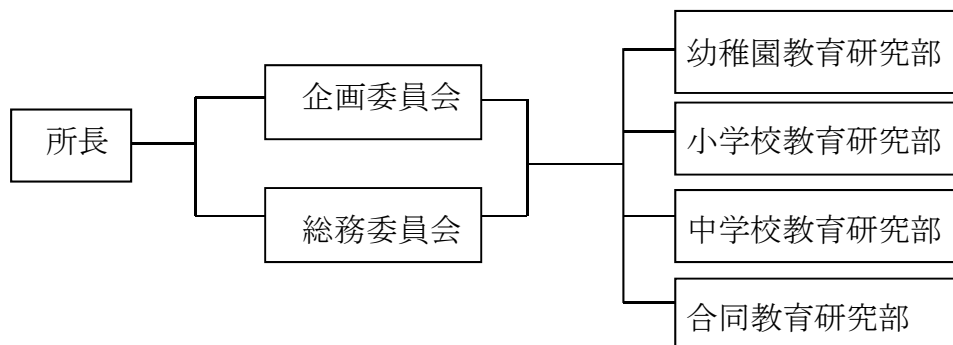
学校給食調理場

調理場名	敷地面積 (㎡)	建物面積 (㎡)				備考
		鉄筋コンクリート造	鉄骨造	木造	合計	
牛窓学校給食調理場	885		721		721	H7.2建築
邑久学校給食調理場	3,332	1,229			1,229	H13.12建築
長船学校給食調理場	2,230	1,358	12		1,370	H16.3建築
計	6,447	2,587	733	0	3,320	

(令和3年4月1日現在)



2 瀬戸内市教育研修所組織



3 研究指定等学校実施一覧

NO	学校名	事業主体	事業名	指定期間	備考
1	牛窓中学校区 4小中学校	市	学力向上プロジェクトチーム	H21～	学力向上 小中連携
2	邑久中学校区 4小中学校	市	学力向上プロジェクトチーム	H21～	学力向上 小中連携
3	長船中学校区 4小中学校	市	学力向上プロジェクトチーム	H21～	学力向上 小中連携
4	邑久小学校 国府小学校 行幸小学校 今城小学校	県・市	不登校対策実践研究事業	H27～ H28～ H29～ H31(R1) ～	不登校対応
5	国府小学校	国・県・市	地域学校協働本部事業	H23～	地域連携
6	邑久中学校	国・県・市	地域学校協働本部事業	H23～	地域連携
7	牛窓北小学校	国・県・市	地域学校協働本部事業	H24～	地域連携
8	邑久小学校	国・県・市	地域学校協働本部事業	H24～	地域連携
9	長船中学校	国・県・市	地域学校協働本部事業	H24～	地域連携
10	今城小学校	国・県・市	地域学校協働本部事業	H25～	地域連携
11	美和小学校	国・県・市	地域学校協働本部事業	H25～	地域連携
12	牛窓東小学校	国・県・市	地域学校協働本部事業	H26～	地域連携
13	裳掛小学校	国・県・市	地域学校協働本部事業	H26～	地域連携
14	牛窓西小学校	国・県・市	地域学校協働本部事業	H27～	地域連携
15	行幸小学校	国・県・市	地域学校協働本部事業	H27～	地域連携
16	牛窓中学校	国・県・市	地域学校協働本部事業	H29～	地域連携
17	牛窓西小学校 美和小学校 裳掛小学校 牛窓中学校 行幸幼稚園	市	瀬戸内市次世代型教育実践研究事業	R 3	<ul style="list-style-type: none"> ・ 道徳教育の充実 ・ 教育の情報化の推進 ・ 幼小連携の推進 ・ 長欠・不登校対応 ・ 幼小連携の推進

NO	学校名	事業主体	事業名	指定期間	備考
18	美和小学校	市	学校運営協議会実践研究	R 3	学校と地域の連携・協働
19	邑久小学校 美和小学校 行幸小学校 長船中学校	県・市	学びの保障・充実のための学習者用デジタル教科書実証事業	R 3	教育の情報化の推進
20	邑久小学校 邑久中学校	県・市	不登校対策別室指導実践研究事業	R 2～	不登校対応
21	邑久中学校 邑久小学校 今城小学校 裳掛小学校	県・市	小中学校における特別支援教育推進リーダー養成事業	R 3～	

4 教育関係委員及び団体

(1) 学校教育関係委員

職名	委員数(人)	任期(年)	備考
学校給食調理場運営委員会委員	20	1	
奨学生選考委員会委員	6	2	
教育支援委員会委員	15	1	
いじめ問題対策専門委員	7	1	
いじめ問題対策連絡協議会委員	9	1	

(2) 社会教育関係委員

職名	委員数(人)	任期(年)	備考
社会教育委員	10	2	
社会教育指導員	4	1	社会教育課1、中央公民館1、牛窓町公民館1、長船町公民館1
青少年問題協議会委員	11	2	
スポーツ推進委員	22	2	
スポーツ推進審議会委員	6	2	
公民館運営審議会委員	10	2	
図書館協議会委員	10	2	
教育支援活動運営委員会委員	12	1	
地域学校協働活動推進員	22	1	

(3) 社会教育関係団体

団体名	構成	構成人数(人)
FOS少年団連盟	4単位団	56(リーダー含む)
青年団	1団体	39
婦人協議会	1団体	70
P T A連合会	1団体(16校園)	2,685
文化協会	18専門部 86団体	744
スポーツ少年団	10専門部 17団	430(指導者含む)
体育協会	16専門部	49(正会員数)
B&G瀬戸内市海洋クラブ	1団体	29(指導員含む)

(令和3年4月1日現在)

5 社会教育施設

施設名	所在地	構造	延床面積 (㎡)	備考
牛窓町公民館	瀬戸内市牛窓町牛窓4910-1	鉄筋コンクリート 3階建	1,751	昭和55年5月（平成19年開設）
牛窓町公民館牛窓分館	瀬戸内市牛窓町牛窓3056	鉄筋コンクリート 2階建	336	昭和54年（平成16年開設）
牛窓町公民館鹿忍分館	瀬戸内市牛窓町鹿忍921	鉄筋コンクリート 2階建	326	昭和54年（平成16年開設）
〃 ふれあい棟	〃	木造平屋建	151	平成15年（平成27年開設）
牛窓町公民館長浜分館	瀬戸内市牛窓町長浜3490-1	鉄筋コンクリート 2階建	554	昭和56年（平成16年開設）
中央公民館	瀬戸内市邑久町尾張465-1	鉄筋コンクリート 5階建	3,386	昭和58年3月31日
瀬戸内市民図書館	瀬戸内市邑久町尾張465-1	鉄筋コンクリート 2階建	2,399	平成28年6月1日開館 （平成22年図書館開設）
瀬戸内市長船図書館	瀬戸内市長船町土師1175-1	鉄筋コンクリート 2階建	136	昭和47年（平成29年3月図書館部分改修） （平成28年6月1日開設）
瀬戸内市牛窓図書館	瀬戸内市牛窓町牛窓4911	鉄筋コンクリート 4階建	422	平成5年（平成28年6月1日開設）
視聴覚ライブラリー	瀬戸内市邑久町尾張465-1	鉄筋コンクリート 平屋建	321	昭和57年（平成16年開設）
福田地域コミュニティセンター	瀬戸内市邑久町福中549	木造平屋建	180	昭和47年
今城地域コミュニティセンター	瀬戸内市邑久町福山487-4	鉄筋コンクリート 平屋建	299	昭和60年
天体観測所（邑宝）	瀬戸内市邑久町尾張482-1	ガラスファイバー製	9	平成6年
長船町公民館	瀬戸内市長船町土師1175-1	鉄筋コンクリート 2階建	1,849	昭和47年
長船町公民館美和分館	瀬戸内市長船町飯井190-1	木造平屋建	392	昭和61年（平成16年開設）

（令和3年4月1日現在）

6 スポーツ施設

施設名	所在地	敷地面積 (㎡)	備考
牛窓グラウンド	瀬戸内市牛窓町牛窓1099-343	10,000	造成年：昭和53年 条例設置：平成27年
牛窓体育館	瀬戸内市牛窓町牛窓6444	1,260	建築年：昭和51年 利用停止中
邑久B&G海洋センター艇庫	瀬戸内市牛窓町牛窓5414-6	55	建築年：平成21年 指定管理
邑久スポーツ公園	瀬戸内市邑久町下山田1711-3	55,880	建築年：平成2年 指定管理
邑久B&G海洋センター	瀬戸内市邑久町下山田1711-3	3,578	建築年：平成5年 指定管理
邑久自然教育の森キャンプ場	瀬戸内市邑久町豊原2939-38	23,991	建築年：平成2年
邑久浄化センター生涯スポーツ広場	瀬戸内市邑久町豊原604-1	4,900	利用開始：平成29年
玉津体育館	瀬戸内市邑久町尻海2970	436	条例設置：平成25年
長船スポーツ公園	瀬戸内市長船町土師2195	21,477	建築年：昭和51年 指定管理
長船B&G海洋センター	瀬戸内市長船町福里833-1	5,624	建築年：昭和63年 指定管理

（令和3年4月1日現在）

※体育館については床面積(㎡)